

大阪鐵工所因島工場及び三庄工場争議につき職工代表は工場幹部との會見時
日を変更し十三日午後三時工場を訪問し最初の要求六箇條の外に解雇
職工を無條件で復職せしむることを追加した要求書を提出したが工場側では
断然之を拒絶した而して上阪中の箕子工場長は本社重役と重要案件
に就て協議したものの如く因島工場では十三日俄かに殘留の修繕工を各地の
船業に向け出勤せしめ新造中のものも櫻島工場に回航準備の電命を受
けた模様である。本社では同工場閉鎖を決定したか疑問であるがこのまゝ行
れば事実上閉鎖の状態となる。

六月十五日 大阪毎日新聞記事

因島争議を憂へて土生町で臨時町會 一萬田支出調停
方を附議

備後因島の労働争議は屢報の如く争議團では十四日正午から土生町大正座で

東三のり黄鼠東西兩地を代表する
町民と職工家族を主とする争議経過報告演説會を開き爾時は會後の方
策につな協議する所があつた而して土生町當局は争議を永續せしむる
へ人心不安に陥りつゝあるを憂へ最善の解決法は三式を腐用し其四所當局を招集
してまとして三式に職長が提示した調停案を本と其共町から一万円を支出し
て調停することゝを認めたる種々の事情あり因島は安易に困難を模倣あり今の
所争議の前途は豫測し難い

六月十六日 大阪毎日新聞記事

因島の争議は既に廿五日に互に會社側も争議團ともに疲弊し初めて悲
愴の態で争議團では會社の態度が餘りに強硬なり今後は社會の同情に
許へて町民を動かすことに務め十五日三度町民に檄すとして

會社が十六日までに何等反省せぬ場合には吾々千五百名の職工の子弟は小学